

# おうちの図工室・美術室

## 〇〇な色ギリギリライン

対象学年 中学校1年生～高校3年生

想定時間 最低1時間～

### 題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

世の中にはいろんな境界線があります。町と町の境目や、家と家の境目などがありますね。ことばとことばの境目もあります。赤色の境目はどこでしょう？人によって違うのでしょうか？おなじでしょうか？では、あなたにとって、好きな色の境目はどこですか？青が好きとか、赤が好きとか、そういうことは考えたことがあったとしても、好きな色の境目は今まで考えたこともないかもしれません。こんな風に今日はいろいろな「〇〇な色ギリギリライン」を探ってみましょう。きっと色のことや、自分自身に対して、新たな発見があるはずです。

- いろいろなギリギリラインをつくってみましょう。まずは「好きな色ギリギリライン」を。その次からのテーマは自分で決めてみましょう。
- 絵の具を使って色を塗りましょう。混ぜ方、塗り方など微妙な違いで様々な色ができます。試してみてください。
- ギリギリラインだと思う色を、微妙に色や水加減などを変えながら画用紙に塗り、乾いたら境目だと思う部分を切り取りましょう。
- 自分が色をどんな風感じているかが分かる研究ノートをつくりましょう。まとめ方は自由です。
- テーマにギリギリあてはまったカードと、あてはまらなかったカードをノートに貼り、自分が判断した基準を分析してみましょう。

### ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分の好きな色があっても、実際に色を目の前になると、思っていた好みと実際の好みが違うことがあります。このように自分が言葉でイメージしていたものと、実際に目前で感じるものとの違いを考えることは、自分を見つめるために重要なことです。

深く見つめる

塗り方や水加減、色の混ぜ方などによって無限にひろがる色の多様さを感じ取ることで、身近な色のわずかな違いに気づいたり、言葉が持つイメージが広く、必ずしも同じイメージではないということを実感したりすることにつながることを期待します。

### 三観点

知識・技能

混色や色の塗り方による変化の仕方を理解しようとしている。

思考・判断・表現

自分のテーマの境界を設定し、微妙な色合いを自分の基準で評価し、適合しているかどうかを判断しようとしている。

主体的に学習に取り組む態度

自分の経験と照らし合わせながら自分なりのテーマを設定しようとしている。

# おうちの図工室・美術室

## 活動の足あと・子どものことば

黄色に少しだけ色を混ぜただけで全然違う色になってしまう…。グローブの色みたいな黄色…。車を買うならこの黄色…。「黄色」から、いろんなことを思い出しました。



好きな「黄色」  
これがベスト

これがギリギリライン  
「黄色」だけでも  
いろいろな色があるんだなあ

海の色ギリギリライン  
入ってみたい海の色  
釣りをしたい海  
入りたくない海…